



任外務大臣

正三位勲一等男爵幣原喜重郎

任内務大臣

正四位勲二等安達謙藏

任大藏大臣

正四位勲二等井上準之助

任陸軍大臣

陸軍大將正三位勲二等功級宇垣一成

任海軍大臣

海軍大將從二位勲二等功級財部 彪

任司法大臣

正四位子爵渡邊千冬

任文部大臣

從三位勲一等小橋一太

任農林大臣

正四位勲二等町田忠治

任商工大臣

正四位勲二等俵 孫一

任遞信大臣

勲三等小泉又次郎

任鐵道大臣

正三位勲一等江木 翼

任拓務大臣

正五位勲三等松田源治

內務大臣 望月圭介

大藏大臣 三土忠造

右

依願免本官

陸軍大臣 白川 義則
海軍大臣 岡田 啓介
司法大臣 原 嘉道
文部大臣 勝田 主計
農林大臣 山本 悌二郎
商工大臣 中橋 徳五郎
逓信大臣 久原 房之助
鐵道大臣 小川 平吉

勅旨ヲ奉シ謹テ奏ス

昭和四年七月二日

内閣總理大臣 濱口 雄幸 謹

臣
圭
介

曩ニ大命ヲ奉シテ重任ニ膺リ以テ今日ニ及
ヘリ然ルニ今回内閣総理大臣骸骨ヲ乞フニ
至レルヲ以テ臣亦共ニ重任ヲ解キ給ハリタク謹
テ辞表ヲヒル

昭和四年七月二日

内務大臣望月圭介

七月二日午後九時親任式

御
奏
上

臣
忠
造

曩ニ大命ヲ奉シテ重任ニ膺リ以テ今日ニ
及ヘリ然ルニ今内閣總理大臣骸骨ヲ乞フニ
至レルヲ以テ臣亦其ニ重任ヲ解キ給ハリタク謹
テ辭表ツ上ル

昭和四年七月二日

大藏大臣三土忠造

昭和四年七月二日

臣義則

曩ニ大命ヲ奉レテ重任ニ膺リ以テ今日ニ
及ヘリ然ルニ今回内閣總理大臣骸骨
ヲ乞フニ至レルヲ以テ共ニ其職ヲ免セラレ度
謹ミテ辭表ヲ上ル

昭和四年七月二日

陸軍大臣白川義則

大正十一年七月二日

海軍大臣

臣 啓 介

曩キ大命ヲ奉レテ重任ニ膺リ以テ今日

及リ然ルニ今回内閣総理大臣職骨ヲ

乞フニ至ルヲ以テ共ニ其職ヲ免セリ度謹シテ

辞表ヲ上ル

昭和四年七月二日 海軍大臣 岡田 啓 介 謹

原嘉道

臣

嘉道

曩ニ天命ヲ奉シテ重任ニ膺リ以テ
今日ニ及ヘリ然ルニ今回内閣総理大臣
骸骨ヲ乞フニ至レルヲ以テ共ニ其職ヲ
免セラレ度謹ミテ辞表ヲ上ル

昭和四年七月式日

司法大臣 原嘉道

臣主計

曩々天命ヲ奉シテ重任ニ膺リ
以テ今日ニ及リ然ルニ今因内閣
總理大臣骸骨ヲ乞フニ至レルヲ以テ
共々其職ヲ免セシ度謹ミテ
表ヲ上ル

昭和四年七月日文部大臣勝田主計

大正十一年九月二十一日

天皇

臣 佛二 郎

曩ニ大命ヲ拝シテ重任ニ膺
以テ今日ニ及ベリ然ルニ今田内閣
總理大臣辭職ヲ乞フニ至ルヲ以
テ共ニ其職ヲ免セラレ度謹ミテ
辭表ヲ上ル

然其大臣骨節ヲヒキニ至ルヲ以
テ共ニ其職ヲ免セラレ度謹ミテ
辭表ヲ上ル

昭和四年七月二日

農林大臣 山本悌二郎

臣徳五郎

異ニ大命ヲ拝ミテ重任ニ膺リ
以テ今日ニ及ヒテ出ルニ今田内閣
総理大臣ノ骸骨ヲ乞フニ至ルヲ以テ
共ニ其職ヲ免セシメ度謹ミテ辭
表シ上ル

共ニ其職ヲ免セシメ度謹ヨリ奏
表シ上ル

昭和四年七月二日

西土大臣中務徳五郎 叩

臣
房之助

是奉天命ヲ奉シテ重任ニ膺
リ以テ今日ニ及ヘリ然ルニ今回内
閣總理大臣骸骨ヲ乞フニ
至シルヲ以テ臣又共ニ其職ヲ免
セラレ度謹テ辞表ヲ上ル

昭和四年七月二日

院録瑞大目骨骨ヲ乞

至ルヲ以テ臣又共ニ其職ヲ免

セリ度謹テ辞表ヲ上ル

昭和四年七月二日

逋信大臣

久原房之助

五

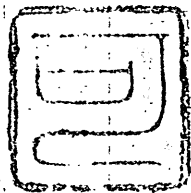
臣平吉

累キニ大命ヲ奉シテ重任ニ膺
リ以テ今日ニ及ヘリ然ルニ今回内
閣総理大臣骸骨ヲ乞フニ至レ
ルヲ以テ其職ヲ免セラレ度
謹ミテ辭表ヲ上ル

臣平吉

累キニ大命ヲ奉シテ重任ニ膺
リ以テ今日ニ及ヘリ然ルニ今回内
閣総理大臣骸骨ヲ乞フニ至レ
ルヲ以テ其職ヲ免セラレ度
謹ミテ辞表ヲ上ル

昭和四年七月二十日
鐵道大臣小川平吉



法制局長官正四位勲二等川崎卓吉
特ニ親任官ノ待遇ヲ賜フ

右

勅旨ヲ奉シ謹テ奏ス

昭和四年七月三日

内閣總理大臣濱口雄幸